

## 「横町木の下面影を知るまちあるき」実施結果

令和4年11月3日実施

### ■目的■

ランドデザイン実現に向け、短期的実現要素の実証とまちあるきにより当地区の魅力の検証を行う。

### ■実施概要■

#### ○日時

11月3日 10時00分～、11時30分～、13時00分～ 計3回実施。

#### ○案内ルート

八幡坂高札ひろば～立町線～青塚古墳～花屋茂七館～児湯～綿の湯～本陣岩波家～立町線～八幡坂高札ひろば

#### ○詳細内容

- ・横町木の下地区のまちあるきを行いながら、解説役から歴史などについて説明を受ける。
- ・横町木の下地区の歴史に関して、横町木の下まちづくり協議会小松会長(花屋茂七館)から説明。
- ・本陣岩波家について、岩波家当主から説明。
- ・本陣の庭園と金屏風を背景に着物を着用して写真撮影。
- ・青塚古墳、児湯、綿の湯は町職員が説明。
- ・行程終了後、八幡坂高札ひろばにて本陣で撮影した写真を引き渡しアンケートを実施した。

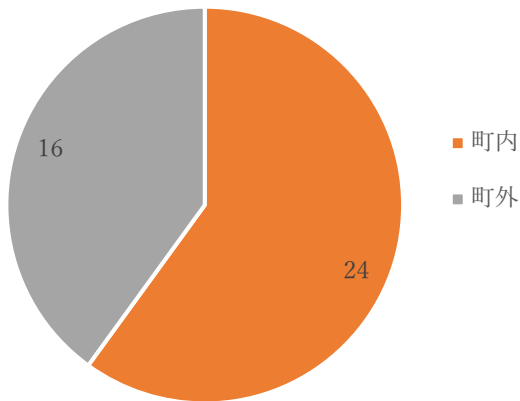
### ■実施結果■

- ・参加者数 1回目21人、2回目16人、3回目10人 計47人
- ・アンケート回収数：40枚

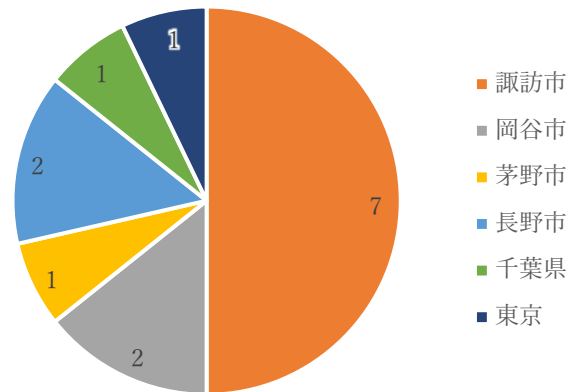
#### ●アンケート結果

- ・町内外から多くの方が来たが、町外からの来訪者のほとんどが車での来訪であった。
- ・駐車場所については秋宮が最も多かった。
- ・性別で見ると女性の方が多い結果となった。
- ・年齢別で見ると60歳代が最も多かった。
- ・同行者は家族での参加が最も多かった。
- ・本陣の意見については茶席の体験を希望する意見が多かったが、意見の中には本陣の公開を求める声もあった。
- ・綿の湯跡地については休憩スペースを希望する意見多く、具体的な内容ではお茶などを飲みながら休憩できるスペースやキッチンカーのスペースといった意見があった。
- ・歩きやすさについて、多くが「歩きやすかった」という意見であったが、「歩きづらかった」という意見も一部見られた。その中には、国道142号の湯田坂から旧綿の湯の区間について危険であるという意見も見られた。
- ・歴史文化などの感想については、まちあるきの中で知り得たことについて、「知らなかった」「勉強になった」といった意見が多くあった。

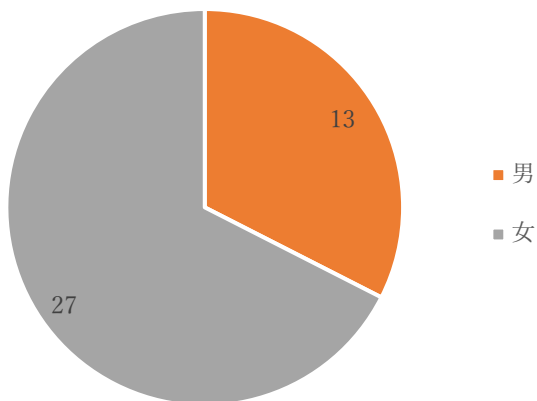
Q1. あなたのお住まいを教えてください



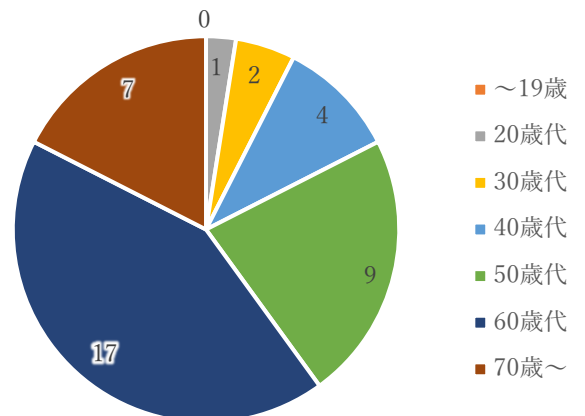
Q1-2 あなたのお住まいを教えてください。(町外)



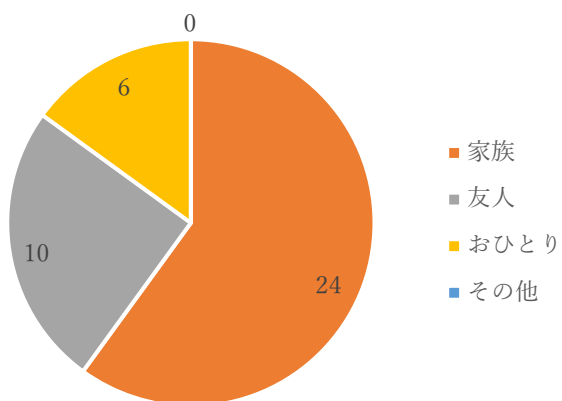
Q2. あなたの性別を教えてください。



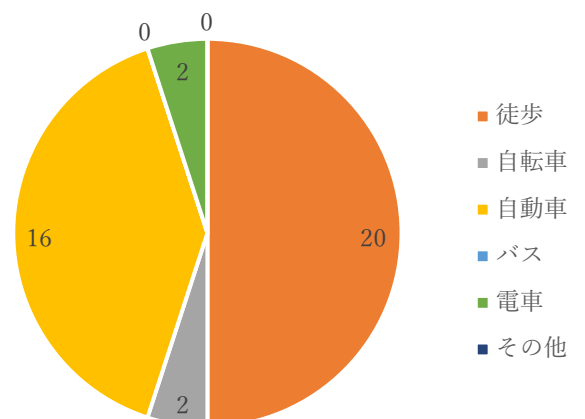
Q3. あなたの年齢を教えてください。



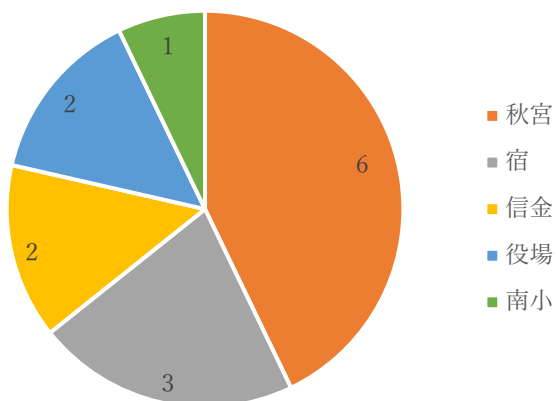
Q4. 同行者を教えてください。



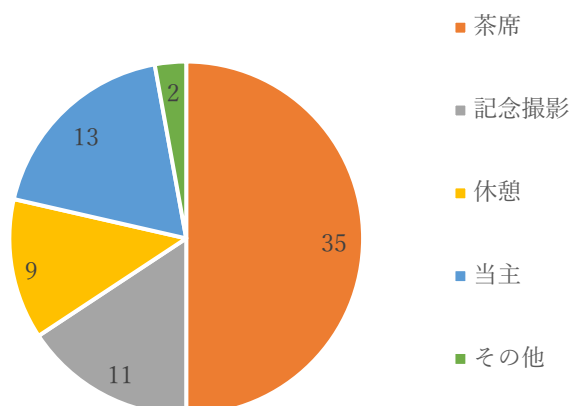
Q5. 自宅からイベントまでの主な交通手段を教えてください。



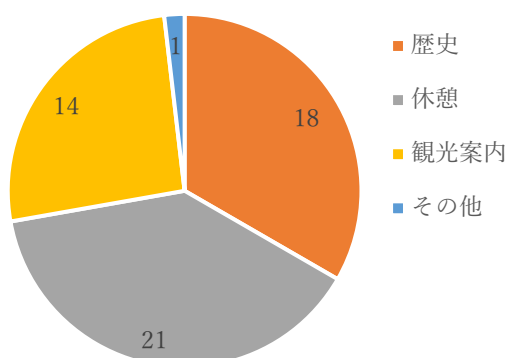
Q5-2. 移動手段が自動車の場合の駐車場所を教えてください。



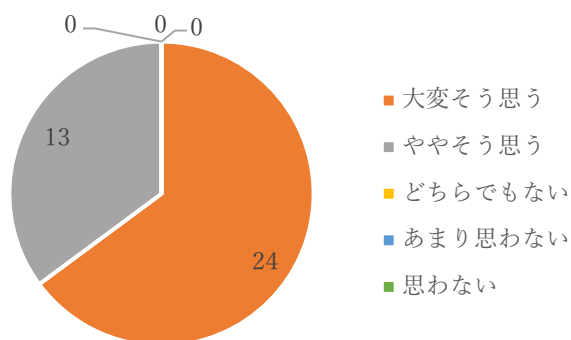
Q6. 本陣についてどのようなコトができればいいと思いますか。  
(複数選択可)



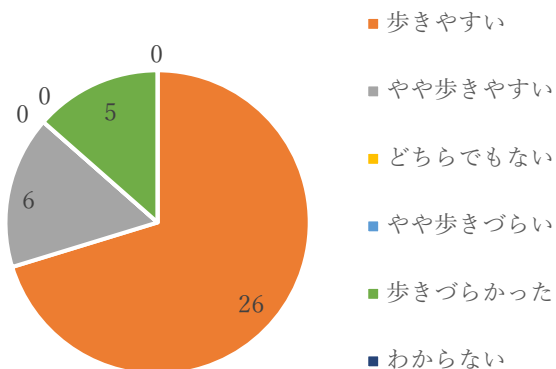
Q7. 綿の湯跡地について、どのように過ごせたら良いと思いますか。  
(複数選択可)



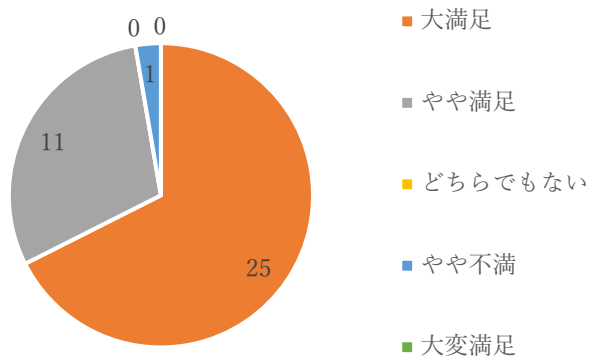
Q9. 今後、このような地域の人との交流について催しがあった場合参加したいと思いますか。



Q10. 今回歩いたみちについて評価を教えてください。



Q12. 今回の「横町木の下面影を知る」まちあるきについて満足度を教えてください。



■ 考 察 ■

- ・約50名の参加があったことから、当地区に魅力があることが再認識され、まちあるきイベントが賑わい創出に有効であると考えます。
- ・歩きやすさについて国道142号の湯田坂から旧綿の湯の区間について、危険であるという意見があることから、まちあるきを進めていくにあたって、歩きやすい環境の整備が必要と考えられる。

〈当日の様子〉

